

第13回 再資源化等支援検討会

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

2025年5月19日

委員名簿

座長	山本 雅資	神奈川大学 経済学部 経済学科 教授
委員	松井 望	東京都立大学 都市環境学部 都市政策科学科 教授
委員	三木 剛志	公益財団法人 日本離島センター 事務局長

1. 2024年度 再資源化等支援業務実績および活動報告

1) 離島対策支援事業活動報告	《報告》		P 3
2) 不法投棄・不適正保管事案解消のための知見の提供	《報告》		P 7
3) 不法投棄・不適正保管の状況に関する調査	《報告》		P 1 0
4) 事業者適正化に向けた取り組み	《報告》		P 1 2
5) 大規模災害対応	《報告》		P 1 3

2. 2024年度 再資源化等支援業務収支報告

1) 特定再資源化預託金等の収支報告	《審議》		P 1 4
2) 大規模災害対応業務の収支報告	《審議》		P 1 6

1) 離島対策支援事業活動報告

(1) 個別自治体への訪問対応

- ・個別離島の実態把握のため、離島訪問し、市町村/事業者等に島内の使用済自動車の流通状況等のヒアリングを実施。加えて当該事業における申請者への支払い業務等の適正性についても確認を実施。
- ・南大東村は、放置自動車のほとんどが農地に倉庫代わりとして利用されていることから、**車両の所有者に朽ちる前に処理等の声掛けを自治体へ依頼。**
- ・与那国町は、100台ほど使用済自動車が散乱していた。使用済自動車は船の優先順位が低く搬出できない状況が続いている。**船が整い次第順次搬出することを確認。**

市町村名	訪問理由、実施事項	ヒアリング結果・対応
利尻町（北海道）	✓ 業務担当者との島内事情のヒアリング ✓ 解体業者のヤード確認	✓ 利尻町側に破砕業者があり、2町分の全廃棄物を受け入れている。車両は整備業者等から集め、搬出の際はコンテナに入れた車を重機で潰して搬出している。ほとんどの車両を受け入れており、島には滞留なく搬出されていることを確認。
利尻富士町（北海道）		
礼文町（北海道）	✓ 業務担当者との島内事情のヒアリング	✓ 最終所有者が本土側の事業者へ直接持つて行く場合もあるが、主に島外事業者が島内の整備業者に引取りに来ており、島に滞留なく搬出されていることを確認。
南大東村（沖縄県）	✓ 放置自動車の確認及び提案 ✓ 事務の遅れについて確認 ✓ 業務担当者との島内事情のヒアリング	✓ ほとんどが農地に倉庫代わりとして利用されており、道路沿いには見られなかった。 車両の所有者に朽ちる前に処理等の声掛けを依頼。 ✓ 前年度分の申請漏れがあったため、2024年度分と合わせて申請を受け付けた。 ✓ 2社ある引取事業者のうち、1社は本業が農業のため引取業の優先順位が低い。もう1社は村から管理を任されているため、島に滞留なく搬出されていることを確認。
石垣市(沖縄県)	✓ 不適正保管現場の確認及び提案 ✓ 市・県・保健所担当者との意見交換	✓ 解体業を取るつもりで30台程集めたが許可は降りない状況。島内の解体業者に売却のアドバイスをし、保健所等に今後も指導を依頼。 ✓ 意見交換では、当該事業の補助割合及び不適正保管現場の話しが主となった。
与那国町（沖縄県）	✓ 不適正保管現場の確認及び提案 ✓ 放置自動車の確認	✓ 100台ほど使用済自動車が散乱していた。使用済自動車は船の優先順位が低く搬出できない状況が続いている。 船が整い次第順次搬出することを確認。 ✓ 放置自動車が数台あったため、後日、対応に関する資料を送付した。

(2) 離島における実態調査後の進捗状況

- ・2024年度は、2023年度のアンケート結果から離島対策支援事業関する支援要望の他、島内に存在する放置自動車、被災自動車についても支援の要望がある市町村に対し、状況を調査確認のうえ対応を実施。
- ・離島対策支援事業周知支援として、**21市町村にヒアリング**。そのうち、14市町村は海上輸送費が無料又は安価、保有台数が少ない等の理由により支援不要。**7市町村に対して周知ツールを送付し、庁舎への配置や掲示物等の対応を依頼。**

内容	計画 市町村数	支援不要 とした市町村	状況確認		確認後	対応 ※重複支援有り			実施 市町村数
			訪問	ヒア リング等		口頭等 アドバイス	資料 送付	周知ツール 送付	
放置自動車 処理支援	・100台超2市 ・10台超の14 市町村	2 ※私有地に倉庫 代わりとして使用	3	11	4 ※倉庫代わり	4	7		10市町村
被災自動車 処理支援	災害廃棄物処 理計画未策定 の16市町村	12 ※被災が想定され、 推計資料の被害 台数が100以下					4		4村
離島対策支援 事業周知支援	小規模離島の うち、認知度が 60%以下とし た21市町村	14 ※ 海上輸送費が無 料又は安価(2千円以下)、実 績有り、保有 台数が少ない		7		7		4	7市町村 ※3市町は事 業に使用でき る船を探索中
島民向け説明 会支援	要望があった9 市町村			9	5 ※深く検討せ ず記載した				0市町村 ※小・中学校 3,事業説明 1 要望有り

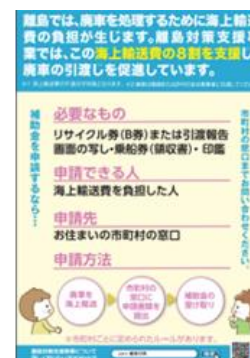
(3) 事業の申請手続きの改善

市町村との資料の受渡し時のセキュリティ強化・効率を向上させるため、より活用しやすいクラウドサービスに移行を検討中。

(4) 事業認知度の維持・向上

事業周知のチラシ、ポスター並びにノベルティとしての付箋を配布。

周知媒体	市町村数	配布部数
事業周知チラシ	29市町村 3県 4市町39事業者	6,802部
事業周知ポスター	35市町村	132部
事業周知付箋	29市町村 4県 1事業者	1,995部



(5) 申請書受付時の証憑確認

申請書受付時の証憑確認として52市町村のうち、**6市町村は現地で確認を行い、不備があった申請書類及び証憑の再提出を依頼。**

確認方法	市町村数	確認台数	不備台数	対応
申請書受付時の証憑確認	46市町村	3,463台	611台	証憑上の引渡先の受取日の記載漏れ等が見られたため、申請受付時の確認を徹底するよう強く要請し、不備があった証憑を再提出させた。
現地での受付支払業務確認検査	6市町	529台	47台	証憑上の押印、引渡者の記載漏れ及び間違いが見られたため、受付及び申請時の確認の徹底を要請し、不備があった申請書類及び証憑を再提出させた

(6) 出えん申請内容不備の改善対応について

佐渡市の2023年度出えん申請書類に不備が判明したため、過去5年(2019年1月～2023年12月)の申請書類及び証憑を改めて調査した。結果、2,083台分に誤りが認められたため、実施要綱に基づき同市へ45,774円の出えん金返還依頼を行い、2025年3月に返金が完了した。

今後、事業者からの申請時に内容の細部確認と証憑の突合等の徹底を同市に要請した。

【参考】申請台数の増加・減少上位3市町村

増減	市町村名	2023年度	2024年度	差	理由
増加	石垣市	2,176台	2,769台	593台	23年度に放置自動車の一斉撤去を実施した竹富町の車台を引取り処理及び一部事業者の他物資優先や事務手続きが遅れていた車台を申請
	徳之島3町	1,203台	1,725台	522台	例年並みに回復 (一部の事業者が処理が遅れていた台数を申請)
	和泊町	87台	315台	228台	例年並みに回復 (23年度は他物資優先等で搬出がほとんどなかった)
減少	佐渡市	1, 178台	485台	△693台	一部の事業者の申請不備により受付の取り下げがあった
	奄美4市町村	2,535台	1,942台	△593台	奄美4市町村で一番申請の多い事業者の事務手続きが遅れ、24年度で申請ができなかった
	竹富町	638台	66台	△572台	例年並み (23年度に放置自動車の一斉撤去を実施)

2) 不法投棄・不適正保管事案解消のための知見の提供

- ・自治体担当者向け「**基礎知識研修とステップアップ現場研修**」を国及び自再協と連携して実施。
- ・2024年度から**基礎知識研修はEラーニング方式とし常時動画で視聴できる仕組みに変更**。
- ・**現場研修は年4回の定例開催に加え、自治体単独での開催を追加し自治体固有の課題に対応**。

(1) 自治体担当者向け自動車リサイクル関連「基礎知識研修」実施概要

項目	内容
開催方法	2024年5月20日より、動画配信（Eラーニング方式）、JARSHPへ映像を掲載
主催者	経済産業省、環境省、一般社団法人 自動車再資源化協力機構、公益財団法人 自動車リサイクル促進センター（事務局）
対象者	都道府県及び保健所設置市の自動車リサイクル法担当者

【Eラーニング方式による主な映像内容、視聴時間】

担当	分類	映像見出し	映像時間
経産省 環境省	自動車リサイクル法の概要施行状況	1. 自動車リサイクル法の概要 2. 自治体における業務の概要 3. 自動車リサイクル法施行状況	5 1 分
JARC	自動車リサイクル法のセーフティーネット	1. 不法投棄等への対応 2. 大規模災害時の対応	3 3 分
	自動車リサイクルシステムと実務について	1. 自動車リサイクルシステム 2. 遅延報告への対応 3. 登録・許可に関する対応 4. フロン類年次報告への対応	7 0 分
自再協	フロン類・エアバッグ類適正処理	1. 自動車再資源化協力機構 2. 引取工程の適正業務 3. フロン、エアバッグ類適正処理	4 9 分



(2) 自治体担当者向け自動車リサイクル関連「ステップアップ現場研修」実施概要

項目	内容
開催方法 開催場所	全国4か所の解体業者の工場で終日の現場研修を実施。また、新たな施策として個別要請の自治体対応とし1か所で実施。 6月5日：岡山県(桃太郎部品) 6月18日：兵庫県(川島商会) 7月10日：三重県(マーク・コーポレーション) 7月23日：茨城県(カーレポ) 8月26日：千葉県(リバー)
主催者	経済産業省、環境省、一般社団法人 自動車再資源化協力機構、公益財団法人 自動車リサイクル促進センター(事務局)
対象者	「基礎知識研修(Eラーニング)」の受講者(実務経験6ヶ月～1年程度)
受講者数	81名(50自治体)が参加 岡山県会場：22名(14自治体) 兵庫県会場：24名(14自治体) 三重県会場：19名(13自治体) 茨城県会場：16名(13自治体) ※重複あり 12名(千葉県)が参加 県職員(本庁、地域事務所)
研修内容	«午前：座学» 1. 不適正事案の指導事例 2. 事業者の移動報告への対応 3. エアバッグ類の不適正事象と指導 «午後：現場研修・グループワーク» 4. 使用済自動車の適正処理の現場 5. グループディスカッション

【参加人数】(2020年度以降はオンライン視聴者を合計)

	基礎知識研修	ステップアップ現場研修
2017年度	377名	2018年度から開催
2018年度	332名	89名
2019年度	326名	70名
2020年度	365名	中止
2021年度	397名	オンラインで代替策実施
2022年度	458名	66名
2023年度	420名	72名
2024年度	411名 (Eラーニング)	93名 (通常81名、個別12名)
計	3,086名	390名

新たな取り組み

【ステップアップ現場研修 自治体単独開催実施結果】

年 月	実施自治体	受講者数
2024年8月	千葉県 (本庁、6事務所)	12名

個別開催により自治体の複数担当者との双方向でのコミュニケーションと自治体固有の課題解決ができる



(3) 一般廃棄物等の市町村担当者に向けた放置自動車、被災自動車対策に関する説明会実施

- ・自治体からの依頼、要請のもと説明会、研修会を2地方環境事務所、13県にて15回実施。
- ・**自動車リサイクル制度の概要、不法投棄・不適正保管車両の対応フロー、他自治体の事例の紹介等情報提供**を実施。

#	自治体	日付	研修項目						時間	受講人数	開催方法
			座学				有識者講演	図上演習			
			自り法概要	不法投棄	放置自動車	被災自動車					
①	岩手県	4月18日	○	○	○				0.5時間	29名	ハイブリッド
②	秋田県	7月18日				○			0.5時間	55名	オンライン
③	和歌山県	8月8日	○			○			1.5時間	50名	対面
④	宮城県	8月27日	○	○	○	○			1.5時間	30名	ハイブリッド
⑤	千葉県	9月4日	○			○	○	○	4.0時間	16名	対面
⑥	中国5県	9月13日	○			○			0.5時間	54名	オンライン
⑦	四国4県	9月13日	○			○			0.5時間	67名	オンライン
⑧	埼玉県	9月27日	○	○	○	○			1.5時間	10名	オンライン
⑨	岩手県	11月7日	○			○			0.5時間	25名	オンライン
⑩	大分県	11月21日	○			○	○		2.0時間	31名	ハイブリッド
⑪	高知県	11月29日	○			○	○	○	5.0時間	29名	対面
⑫	長崎県	1月31日	○			○			0.5時間	53名	オンライン
⑬	石川県	1月31日	○	○	○	○			1.0時間	53名	対面
⑭	愛知県	2月10日	○			○			1.5時間	37名	対面
⑮	静岡県	2月21日	○			○	○	○	4.0時間	55名	対面

3) 不法投棄・不適正保管の状況に関する調査

- ・2024年4月、自リ法を所管する全国137の都道府県・保健所設置市に対し、不法投棄・不適正保管の状況に関する年次調査（施行状況調査）を実施。
- ・年次調査の結果、**不適正保管・不法投棄台数の合計は4,613台（前年4,777台）となり、前年度比164台減少（23年3月末⇒24年3月末）。**

	2022年度	2023年度	2024年度（カッコ内は事案数）				
					100台以上	10台以上	10台未満
不適正保管	4,529	4,021	指導・対応中	3,554	663(3)	2,649(78)	242(93)
			支障なし等	312	0	182(10)	130(68)
			小計	3,866	663(3)	2,831(88)	372(161)
不法投棄	752	756	指導・対応中	604	0	50(1)	554(429)
			支障なし等	143	0	25(1)	118(68)
			小計	747	0	75(2)	672(497)
合計	5,281	4,777	4,613 (751)		663(3)	2,906(90)	1,044(658)

《100台以上の大規模な不適正保管 3 事案》

自治体	所在地	24年度調査台数
北海道	遠軽町	274台
	厚真町浜厚真	160台
徳島県	阿波市	229台



3) 不法投棄・不適正保管の状況に関する調査

・原因者事業者に対する自治体改善指導、JARC財団スキーム提案等重点地域への活動による撤去処理は2025年3月末、173台完了。その他事案についても鋭意撤去処理推進中。

重点自治体	市町村	2023年度撤去台数	2024年度		残	撤去方法	2025年度推進状況
			残置台数	撤去台数			
岩手県	二戸市	22	62	12	50	自社商流	自治体継続指導
	奥州市	0	76	0	76	財団スキーム提案中	自治体継続指導
	一関市	0	53	53	0	財団スキーム	
福島県	白河市	20	59	14	45	財団スキーム	自治体継続指導
	柳津町	0	44	21	23	財団スキーム	自治体継続指導
	南相馬市	0	73	73	0	財団スキーム	
栃木県	市貝町	51	19	0	19	自社商流	自治体継続指導
群馬県	みなかみ町	17	0	0	0	自社商流	自治体継続指導
広島県	広島市	50	0	0	0	自社商流	
合計		160	386	173	213		

・財団スキームによる不適正 保管車両の撤去処理前後

岩手・一関事案



R6.10.31



R7.1.28

福島・南相馬事案



R6.10.22



R7.2.7

4) 事業者適正化に向けた取り組み

- ・新規許可申請中の外国人事業者を対象に自り制度理解のうえ、事業の適正化を図る目的で、研修会を開催(自治体が開催を案内、JARC、関係団体が研修を実施)。
- ・カリキュラムは法制度概要や許可要件、解体実務作業実演、リサイクルシステム操作及び適正な手順等を受講者に合わせた言語のテキストと通訳者を用意し実施。

【事業者サポート研修】

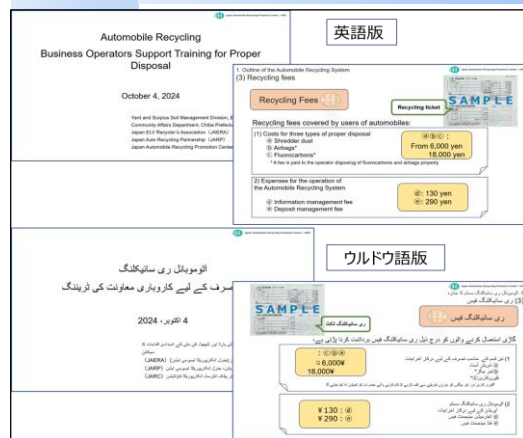
	開催日	開催事業者	受講者	対象言語
2023年度	2024年3月26日	京葉自動車工業(株) (千葉市)	6社 8名	英語、ウルドゥ語、 シンハラ語
2024年度	2024年7月2日	京葉自動車工業(株) (千葉市)	7社 11名	英語、ペルシア語
	2024年10月4日	京葉自動車工業(株) (千葉市)	6社 9名	英語、ペルシア語、 中国語
	2024年12月4日	京葉自動車工業(株) (千葉市)	3社 5名	英語、ペルシア語、 中国語
	2025年2月7日	京葉自動車工業(株) (千葉市)	5社 5名	英語、ペルシア語、 パティシユ語

- ・23年度千葉県でトライアル開催し、24年度から研修を軌道に乗せ7、10、12、2月千葉県で4回実施。
- ・他県(外国人業者の多い自治体)にも本研修の展開(オンライン、訪問)を行っており、開催に向けて連携を推進した。
- ・2025年度は千葉県に加えて、三重県でも開催予定。

理解度テスト合格をもって事業者適正化サポート研修修了

多言語テキスト

英語 ウルドゥ語、ペルシア語、シンハラ語、中国語、パシユト語



実務：フロン、エアバッグ処理作業



座学：法概要、設置要件講義



5) 大規模災害対応

(1) 能登半島地震復旧復興対応(大規模災害における被災自動車撤去・処理対応)

- ・「災害廃棄物対策指針」に定められた自治体における被災自動車撤去・処理に関して自動車リサイクル法に則した知見を提供する等、円滑な対応に繋げた。
- ・被災車両の処理の経験が今後の災害処理の知見となる為、講じたノウハウ等を「手引書・事例集」へ掲載し、今後の自治体災害対策研修会に反映させていく。



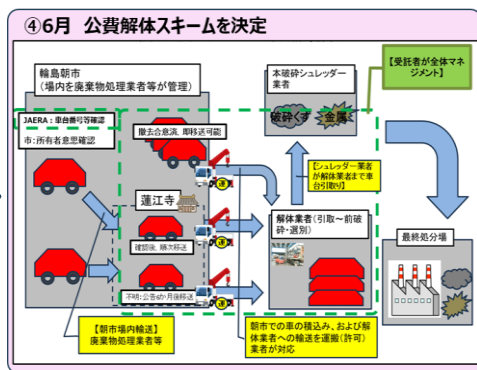
被災車所有者に向けた、処理手順案内チラシを作成、石川県庁及び能登半島6市町村に展開。



輪島朝市の焼損車は資源価値喪失の為、現地調査のうえ、処理方法を環境省、輪島市と協議。



環境省、輪島市、JARC、JAERAによる焼損車処理プロジェクト始動。車台番号確認作業を実施。



環境省、輪島市、JAERAと朝市地区の焼損車81台限定に公費による撤去処理解体スキームを構築。



隣接した被災寺院地内の瓦礫を整地し敷鉄板後、一時保管場所設置(約1200㎡)。



JAERA会員他が全81台を運搬し解体業者への引渡しを実施。9月14日全車台移動報告完了。

離島対策等支援事業では、総額172,748千円（前年度比98.9%、予算比78.8%）を支出し、次期繰越金は51,397千円となった。

1）特定再資源化預託金等の収支報告

		2023年度	2024年度		2025年度
		実績	予算	実績	予算
収入	特定再資源化預託金等からの出えん額	199,579	167,929	167,929	208,870
	同上（広報部門活動費に係る出えん額）	-	2,620	1,813	2,620
	受取利息等	1	1	121	30
	計	199,580	170,550	169,863	211,520
支出	離島対策支援事業 出えん額	119,290	143,476	109,497	138,956
	不法投棄等対策支援事業 出えん額	-	-	-	5,000
	調査費	1,268	3,310	2,239	8,700
	再資源化等支援検討会運営費	236	317	143	150
	理解普及活動費	2,953	7,275	5,107	8,077
	同上（広報部門活動費）	2,030	2,620	2,542	2,620
	その他の事業費（人件費）	30,529	36,127 ※901	37,028	35,394
	事業費計	156,306	193,125	156,556	198,897
	管理費等	18,435	15,652 ※128	16,192	39,267
	予備費	-	10,310 ※△1,029	-	11,780
	計	174,741	219,087	172,748	249,944
当期収支差額		24,839	△48,537	△2,885	△38,424
前期繰越収支差額		29,442	58,537	54,281	48,424
次期繰越収支差額		54,281	10,000	51,397	10,000

※各支出科目において、実績が予算を上回る場合は予備費から各科目の予算に充当する。2024年度は予備費予算からその他の事業費（人件費）・管理費等予算に1,029千円を充当使用した。予算と実績との差異は当初予算との差異を表示。

(1) 離島対策支援事業出えん実績

申請は計77市町村から20,024台、109,497千円を受付け、申請内容を確認した結果、全て適正であったため出えんを実施した。

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度（別紙 1 参照）		2025年度
					対前年度	計画
離島市町村数	135	135	135	135	0	135
事業対象市町村数	125	125	125	125	0	125
事業計画提出市町村数	81	81	82	83	1	83
申請市町村数	78	84	80	77	△3	－
事業計画提出市町村数	69	73	73	70	△3	－
事業計画不要市町村数	9	11	7	7	0	－
保有台数	443,656	442,752	442,367	451,894	9,527	451,977
計画台数	27,422	27,853	28,232	26,266	△1,966	25,261
申請台数	27,931	23,632	21,770	20,024	△1,746	－
申請台数保有比（％）	6.3	5.3	4.9	4.4	△1	－
計画額（千円）	123,173	133,751	144,152	143,476	△676	138,955
申請額（千円）	137,757	123,654	119,290	109,497	△9,793	－
計画に対する申請比（％）	111.8	92.5	82.8	76.3	△7	－
台当たり輸送単価	6,172	6,543	6,852	6,839	△13	6,877

(2) 不法投棄等対策支援事業出えん実績

不法投棄等対策支援事業については、事業活用の計画がなく、年度途中で事案も発生しなかったため、出えんはなかった。

同じく、特定再資源化預託金等の出えん事業における大規模災害対応業務では、総額7,738千円（前年度比137.9%、予算比52.6%）を支出し、次期繰越金は2,004千円となった。

2）大規模災害対応業務の収支報告

(単位：千円)

		2023年度	2024年度			2025年度
		実績	予算	実績	差異 (実績－予算)	予算
収入	特定再資源化預託金等からの出えん額	7,980	14,712	6,700	△8,012	11,700
	計	7,980	14,712	6,700	△8,012	11,700
支出	委託費	5,178	12,682	5,763	△6,919	6,600
	調査費	409	1,980	1,767	△213	3,940
	その他の事業費	20	50	208	158	1,160
	計	5,608	14,712	7,738	△6,974	11,700
当期収支差額		2,372	-	△1,038	-	-
前期繰越収支差額		670	-	3,042	-	-
次期繰越収支差額		3,042	-	2,004	-	-

以 上